

# スポーツ国際戦略(スケジュール的な戦略)

参考1

- 今後2年間は、多くの国際会議や国際競技大会が日本及びアジアにおいて開催される予定。  
→ 日本のスポーツを打ち出すには絶好のタイミング。(=本年7月のユネスコ・スポーツ大臣会合を皮切りに、官民で戦略的な打ち出しが必要)
- 関係団体におかれては、本件について御承知おき願いたい。

## 【概要】

- ① ユネスコ・スポーツ大臣会合(MINEPSVI)において、コンテンツとしての「**体育と多様なスポーツ機会の提供**」とスキームとしての「**Sport for Tomorrow事業**」をセットで打ち出し、その効果としての「**スポーツによる健康増進と社会参加の促進**」を掲げる。  
これにより、よりよい社会づくりに向けた「スポーツを通じた社会参加の促進と健康増進」、及びそのための国際連携の必要性を呼びかける。
- ② ASEAN及び大洋州のスポーツ大臣会合を開催し、個々のプロジェクト形成の政府レベルの環境整備を行う。
- ③ 今後予定されている国際会議や大規模競技大会の場面を活用して、バイ会談等で個々のプロジェクトの実現化を協議する。
- ④ その上で、現地政府やNGO等を含めた全てのステークホルダーを含めた官民連携の対話枠組みにおいて具体的な案件形成につなげる。

スケジュール

2017年

【ASEAN50周年】

7月:ユネスコ・スポーツ大臣会合

8月:SEAGAMES(マレーシア)

10月:日・ASEANスポーツ大臣会合(ミャンマー)

11月:ユネスコ総会(CEGEPS選挙)

2018年

2月:平昌・冬季オリパラ大会

8月:夏季アジア競技大会(インドネシア)

11月:ANOC総会

未定:日中韓スポーツ大臣会合

未定:日・大洋州スポーツ大臣会合(調整中)

【日インドネシア国交60周年】

2019年

8月:世界柔道選手権大会

9月:ラグビーワールドカップ

11月:TAFISA世界大会

12月:女子ハンドボール世界選手権大会

(未定:テストイベント又はIF等の会議が多数想定)

2020年

7-9月:東京オリパラ大会

未定:IOC総会

(未定:テストイベント又はIF等の会議が多数想定)

2021年

5月:関西ワールドマスタースゲームズ

8月:世界水泳選手権

2022年

2月:北京・冬季オリパラ大会

~

2025年

【スポーツGDP・15兆円の目標年】

(?大阪万博)

2026年

9-10月:夏季アジア競技大会

レガシーに向けた仕込み

レガシー創出

レガシーの果実